

## 平成 28 年度第 3 回公立大学法人滋賀県立大学経営協議会議事録

日時・場所：平成 28 年 9 月 21 日（水）13 時 30 分～15 時 20 分 評議会室

出席者：大田理事長、堺井副理事長、廣川理事、濱崎理事、倉茂理事、上原委員、小出委員、須江委員、高橋委員、村山委員、渡辺委員

事務局：木村事務局次長、山田総務グループ統括、三和田財務グループ統括、吉村経営企画グループ統括、北村学生・就職支援グループ統括、藤川教務グループ統括、草川地域連携推進グループ統括、中川副参事、今村主任主事、中嶋主事

### 【議 題】

#### （1）経営協議会からの理事長候補者の推薦について

吉村経営企画グループ統括から前回 8 月 5 日の第 2 回経営協議会で決定された経営協議会での選考方法について確認のため説明があった。

引き続き、吉村経営企画グループ統括から推薦の状況について説明があり、経営協議会委員 2 名から本学理事の廣川能嗣氏を理事長候補者に推薦する推薦書が提出された旨資料に基づき報告があった。

審議にあたり、被推薦者である廣川委員退席。

第 2 回経営協議会で決定された選考方法に基づき、経営協議会委員から推薦のあった廣川能嗣氏を経営協議会から理事長候補者として推薦することについて、推薦書の内容を確認のうえ審議し、異議なく承認された。

審議終了後、廣川委員入室。

### 【報告事項】

#### （1）平成 27 事業年度公立大学法人滋賀県立大学の業務の実績に関する評価結果について

廣川研究・評価担当理事から資料に基づき報告があった。

委員からは、評価は組織を成長させるためのものであり、よいところは積極的に説明していくことも大事である等の意見があった。

#### （2）中期目標期間評価スケジュールについて

吉村経営企画グループ統括から資料に基づき説明があった。

#### （3）（仮称）「地域ひと・モノ・未来情報研究センター」について

廣川研究・評価担当理事から資料に基づき報告があった。

#### （4）水草からのバイオガス生成研究について

大田理事長から資料に基づき報告があった。

(5) 滋賀県立大学の広報の在り方に関する検討状況について

吉村経営企画グループ統括から資料に基づき報告があった。

**【意見交換】**

(3)～(5)の報告事項について意見交換を行った。これらの取り組みについては、今後も経営協議会の場で状況を報告していくこととされた。

(主な意見)

- ・広報は大学のイメージ、印象が大事である。情報研究センターのメディア向けの広報も小分けして情報発信するとよいのではないか。滋賀大の取り組みとも連携し、調査分析結果や成果も共有していければよいのではないか。
- ・広報戦略の取り組みの効果は、単年度では難しく、長期的、継続的に行っていく必要がある。また、予備校等、外部の視点を取り入れることも必要ではないか。長期的な視点で広報、研究推進に取り組んでいただきたい。
- ・受験生を確保していくには、保護者に働きかけていくことも必要ではないか。
- ・情報研究センターには地域とのかかわり、地域の活性化に寄与されることを期待したい。
- ・中小企業では、国の産業施策の意向に沿うところが大きい。国との連携も必要であり、情報収集も必要ではないか。
- ・国の制度を活用していくため、県内企業と連携するとよいのではないか。
- ・情報研究センターについては、組織の構築が大事ではないか。
- ・大学をアピールしていくため、テーマを絞り、小さなことでも具体的に見せることが大切ではないか。地域とむすびつき、地域の食材を利用した学生食堂の取り組みなど。
- ・情報研究センターの3つの取り組みは、いずれも重要なものであり、期待したい。アカデミックな視点が地域の企業等に必要である。地域課題の解決に向け連携していきたい。また、情報研究センターの副専攻の地域を対象とした聴講生については、ご相談いただきたい。

**【資料配布】**

(1) 平成27年度監事監査結果報告について